

令和5年度 学校評価 自己評価書（2学期）

1 学校の重点目標

- 心の教育の充実 「自ら考え、判断し、行動する生徒の育成」
- 「確かな学力」の育成 「主体的・対話的で深い学びの視点に基づく授業改善」
- 心を育てる予防的生徒指導の充実 「心に届く指導、見届け・フォローのある指導」
- 体力・気力の向上と保健・安全指導の充実 「自分の命は自分で守る意識及び態度・習慣の育成」
- 人権同和教育の充実 「いじめ・差別のない、自他を尊重する生徒の育成」
- 教職員の資質・能力の向上 「研究テーマに基づく累積研究」
- 業務改善の推進

2 課題と改善策 ※4段階評価

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
心の教育	1 望ましい人間関係の確立	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳科授業を学年全体で担当（ローテーション）し、生徒からも好評である。 ・ 清掃に黙々と取り組ませる雰囲気づくりを行う必要がある。
	2 人権尊重と生命に対する思い	B	
	3 道徳教育の充実	B	
	4 ボランティア活動等の充実	B	
学力向上	1 指導計画の工夫・改善	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの積極的な利活用について更に推進していく。 ・ タブレット活用におけるリテラシー教育の充実を図る必要がある。
	2 ICTの積極的な利活用	B	
	3 指導と評価の一体化を踏まえた実践	B	
	4 個に応じた指導の充実	B	
生徒指導	1 学級経営・教科経営の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭との連携を密にして、課題解決に取り組んでいる。 ・ 関係機関とも積極的な連携に努める必要がある。
	2 予防的生徒指導，組織的な取組	A	
	3 生徒会活動の充実と自治能力の育成	B	
	4 家庭や地域・関係機関との連携強化	B	
体力向上	1 自分の命を守る意識・態度等の育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察による非行防止教室を通して意識の高まりがみられた。 ・ 交通安全指導等の機会を捉えた安全指導の充実を図る必要がある。
	2 ガイドラインの方針に基づいた部活動の充実	A	
	3 性教育・喫煙・薬物乱用防止教育等の充実	A	
	4 熱中症予防、新型コロナ対策等の充実	A	
人権同和教育	1 人権感覚の育成と認識を深める指導の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」等を活用して更なる資質向上を図る。
	2 人権同和教育に関する研修の深化、資質の向上	B	
資質向上	1 教師の学びの変化への対応	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研修の充実と校外研修への積極的な参加を推進する。 ・ 定期的または機会を捉えた周知・指導を引き続き行う。
	2 授業や実技を通じた研修の充実	B	
	3 職責・服務規律の厳正確保、不祥事根絶の徹底	A	
業務改善	1 「正規の勤務時間を超える勤務が、月45時間以内」を意識した業務改善	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1Actionの共通理解及び1Tryへの意識向上を図る必要がある。
	2 「1Action」、「1Try」等による業務改善の推進	B	

3 次学期（年度）に向けての取組

- 主体的・対話的で深い学びの実現をめざして、ICTの積極的な利活用を含む授業改善を更に進めていく。
- 「かごしま教員育成指標」を活用して自己研鑽に努め、使命感をもって職務を遂行できるよう意識向上を図っていく。